

⑧子育てママの食育教室 ～見て・触れて・食べて 実感！～（11月22日）

参加者：29人

概要：しんぐる・まざあず・ふおーらむ関西との特別企画。シングルマザーの親子へ食育機会を提供した。

内容：みかんの収穫体験、食育の話



果樹農家よりみかんの栽培を説明



美味しいみかんの見分け方も



昼食には新鮮なサラダバー

⑨旬の食材と料理を満喫する旅 女子会ツアー（12月19日）

参加者：11名

概要：企業の福利厚生などの支援業務を行う(株)ベネフィットワンとの連携で企画。ターゲットを働く若い女性層と定め、新たな休日の過ごし方を提案。食育意識は比較的低いものの美や健康には敏感な独身女性への啓発活動としての可能性を検証した。

内容：野菜収穫体験（ブロッコリー、キャベツ）、調理体験



初めての鎌を使ってキャベツの収穫



ブロッコリーの収穫



農家とともに集合写真



デザート＆ピザ作り



収穫した野菜をトッピング



自分達で作ったサラダと石釜焼きピザ

旬の食材でランチ
農の魅力満喫ツアー

和歌山・紀の里
JA紀の里

働く女性発信力期待
食育テーマに企業などと連携

【和歌山・紀の里】JA紀の里は、食育をテーマにした農業体験を始めた体験ツアーやイベントを企業・団体などと連携して進めている。旬の食材と料理を満喫する旅をテーマにしたツアーは、インターネット交流サイト（SNS）などを気軽に使い情報発信力がある働く女性を対象に企画し、野菜の収穫体験と調理を行った。地域の食材や農業の魅力を信じて力に期待している。

体験ツアーやイベント「ベネフィット・ワンや農プログラムを提案した。は、農水省の「消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業」を活用した。今回は、企業の福利厚生サービスを手掛ける「おりの川市」で、自分たちで調理したランチを楽しむ参加者（和歌山県紀の川市）。

「ネット交流サイト（SNS）などを気軽に使い情報発信力がある働く女性を対象に企画し、野菜の収穫体験と調理を行った。地域の食材や農業の魅力を信じて力に期待している。」

作りでは、生地から手作りし、自ら収穫した日野菜や水菜をトッピング。ダイコンやレタスでサラダを作るなど参加者が楽しみながら交流を深めた。

ツアー参加者は11人。大阪から参加した上田奈央さんは「収穫したものをすぐに調理して食べると新鮮さを感じることができた」と話す。

農水省は2015年度、消費者ニーズに対応した食育活動を開発するの連携のもと、体系的に提供する「モデル事業」を実施。日本型食生活の普及・実践、食や農水産業への理解促進を目指す。JAでは2、3月にもツアーを計画中だ。

JA紀の里の下田和敏二部部長は「消費者ニーズに応じた体験型食育プログラムの提案で、食を育む地域農業の魅力を伝えていきたい」と話している。

日本農業新聞
平成 28 年 1 月 4 日

⑩紀の川市で「食と農」の体験ツアー ～ホスピタリティリズム専門学校～（1月31日）

参加者：22名

概要：旅行、ホテル、空港などのサービス提供分野への就職を目指す、専門学校との初めてのコラボ企画。将来観光業に関心のある若年層へ食育の機会を提供した。

内容：農産物流通センター見学、野菜収穫体験（ブロッコリー、ロマネスコ）、桃ジャム体験、食育の話



流通センター 八朔の選果中



初めてのブロッコリー収穫



あら川の桃を使ったジャム作り